

さかい〜統計情報館

The statistical report of Sakai City



今回の数字

98.0

作成日：平成 20 年 1 月 31 日

作成元：坂井市役所 情報政策課

TEL:0776-50-3014

FAX:0776-67-7509

MAIL: jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

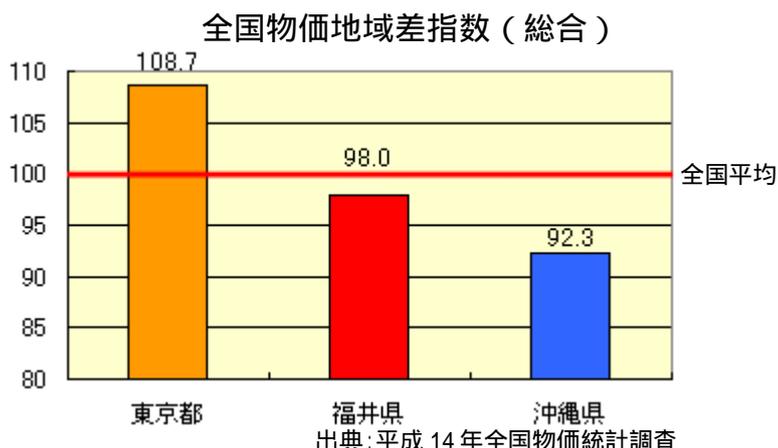
～安い？ 高いの？～

昨年から、ガソリンや灯油の価格が急激に高くなりました。全国版の新聞やテレビで報道されている価格と近所のスタンドの価格を比べて「あれ？」と思われる方もおられると思います。ガソリン・灯油も含めて、物の値段やサービスの料金、いわゆる物価は、提供するまでの費用によって地域間、店舗間で違いがあります。その違いや格差を全国的に調査するために「全国物価統計調査」が5年に1度実施されています。昨年は、その実施年にあたり、平成 19 年 11 月 21 日（木）を基準日として、全国の 673 市町村で約 13 万の小売店舗と約 4 万の飲食店やサービスを提供する事業所を対象に 204 のさまざまな品目について調査されました。坂井市でも 188 の小売店舗と約 50 の飲食店やサービスを提供する事業所にご協力いただきました。この調査を実施することで、下記のようなことが明らかになります。

- 一般小売店、スーパー、量販店など、店舗の業態の違いによる価格差
- 従業者数、売場面積などの店舗規模による価格差
- パート・アルバイト比率による価格差
- 店舗の特徴づけの違いによる価格差（低価格、高品質・こだわりの商品やサービスの充実など）
- 通信販売と店頭販売による価格差
- 通常価格に加えて、曜日別の価格や特売による価格差
- 地域間の物価水準の違い

前回は、平成 14 年に実施されました。その結果の中の「地域間の物価水準の違い」から、私たちの地域の物価水準について紹介します。

全国の物価平均を 100 とした場合の地域別の物価水準を「全国物価地域差指数」といいますが、調査項目を総合した指数（総合指数）で、最



も高い都道府県は東京都(108.7)、次いで神奈川県(106.1)、最も低いのは沖縄県(92.3)で、次いで宮崎県(93.4)となっており、福井県は98.0で高い方から数えると20番目でした。また、私たちの生活の上での消費支出を大きく10に分類し、この分類ごとの地域別の物価指数を大分類指数といたしますが、福井県の指数は、下のグラフのようになりました。



1 全国物価地域差指数は、世帯が購入する価格を総合し、物価水準の地域間の格差を全国 = 100 とした指数値で示したものです。

各分類の調査内容

食料：穀類，魚介類，肉類，乳卵類，野菜・果物，油脂・菓子類，調理食品，飲料，酒類，外食
住居：家賃，設備修繕・維持
光熱・水道：電気・ガス代，他の光熱，上下水道料
家具・家事用品：家庭用耐久財，室内装備品，寝具類，家事雑貨，家事用消耗品，家事サービス
被服及び履物：衣料，シャツ・セーター，履物類，生地・他の被服類
保健医療：医薬品・健康保持用摂取品，保健医療用品・器具，保健医療サービス
交通・通信：交通，自動車等関係費，通信
教育：授業料等，教科書・学習参考教材，補習教育
教養娯楽：教養娯楽用耐久財，教養娯楽用品，書籍・他の印刷物，教養娯楽サービス
諸雑費：理美容サービス，理美容用品，身の回り用品，たばこ，その他

福井県の物価水準(全国物価地域差指数)は、総合では、全国の値よりやや低いようですが、大分類別では、「食料，家具・家事用品，被服及び履物，諸雑費」の各項目で全国の値を上回っており、反対に「住居，光熱・水道，保健医療，交通・通信，教育娯楽」では下回りました。特に「保健医療」の項目は、全都道府県の中で最も低い値でした。いかがでしょうか。日常のわたしたちの生活の中で購入している物やサービスの価格が、全国の水準よりも、意外に「高かった」，「安かった」と思われる項目があったことと思います。このように、統計調査を全国一斉に同じ条件で行うことで、私たちの地域や暮らしのさまざまなことが分かります。統計調査は、わたしたちのくらしの現状や将来を知る上で生活に欠かせないものです。

今回の数字の答え : 福井県の総合物価指数(平成14年全国物価統計調査)

今回の調査ではどのような結果が出るのでしょうか?今年6月から順次公表される予定ですので、今後ご紹介します。